

七転八起

【第45回】

節水もエコ、業界初
「CO₂(GHG)排出削減活動」(株)アースアンドウォーター 代表取締役社長
山中 正美氏

中小企業が事業に臨む際、必ずぶつかってしまふ「壁」。技術、資金、販路など課題は山積。解決の糸口に辿り着くまでにフォーカスしたシリーズ「七転八起」。第45回目は、50歳前で出会った節水の仕事を天職として独立を果たし、業界初「節水によるCO₂(GHG)排出削減活動」を始めたアースアンドウォーターの山中正美社長に話を伺った。

節水はもともと省エネ、
温暖化防止に貢献

——高校卒業後、地元で就職しました。

山中 若い頃から考えるより体を動かすのが得意なタイプでしたが、勉強は全く。高校卒業も危うくて、就職先も自分で探せと先生に言われたくらいです。運よく知人の紹介で地

元(名古屋)の会社に就職しましたが、別にやりたいこととかなく、生活のためでした。内向的な性格で営業だけは断っていたのですが、だんだん面白さがわかってきて。その後転職し、東京に単身赴任して営業本部の仕事に就くのですが、疑問がわいて。48歳で退職、地元に戻りました。なんとかなるさという気持ちでしたが、甘かったですね。50歳目前でハローワーク通いになりました。

——節水と出会ったのはその頃ですね。

山中 節水とは、経費を減らすことだと知って、いい仕事だと思いました。いろいろ調べる中、自分が探していたものはこれだと、こんなことは初めてでした。ところが、働きだしてわかったのが、節水業界自体、世の中から信用されていなかった。いわゆる、売りっぱなし。話が違ってもフォローもない。でも、私はあきらめませんでした。売りっぱなしではなく、節水装置を取り付けた後の維持管理が大事で、それをまじめにやって経費削減効果を出してお客様が納得し、喜んでいただく、そうすれば会社は発展するし、業界のイメージも変えられると本気で考えました。当時、私と同じ思いを持つ二十数名の社員たちと一緒に経営陣に訴えました。残念ながら、目先の利益しか考えない経営陣との溝は埋まらず、その上、私は社員を扇動したという理由で懲戒解雇になりました。その後会社は倒産し私は失業して振出に戻りました。しかし、その後、本当に幸運なんですが、応援してくれる人が現れ、今の会社を起こすことができました。

——スタートはいかがでしたか。

山中 最初の5年は大変でした。それでも、



排出削減活動証明書を掲げる山中正美社長

節水の仕事は、世の中の役に立つ、なくてはならない仕事だという気持ちは変わりませんでした。そこでスタート時から他社がやっていないレンタル事業にも挑戦し続けました。これが成功し、業績が伸びました。現在、当社の節水装置は全国8000施設（うちレンタル契約3350施設）に導入され、レンタル契約のリピー率は98.5%になっています（2020年8月時点）。嬉しいことに今はお客様が増えています。お客様がお客様を呼んでくれています。

でも、一番大変なのは社員です。売るだけのほうが楽ですから。装置を売るのでなく、経費削減という価値を売る、でも、そのために社員に負担をかけています。当社がここまで発展できたのは頑張ってくれた社員がいるからです。その労力には感謝しかありません。

——業界初、「節水によるCO₂ (GHG) 排出削減活動」プロジェクトを始めた理由は。

山中 節水はもともと省エネです。水を使えば電気を使いますから、温暖化防止に貢献しています。ところが、電気やガスはCO₂削減効果が言われるのに節水はいわれない、それはおかしいと思ったんです。節水がどのくらい貢献しているのか数値化する方法を専門家にお願しました。そこでできたのが「節水によるCO₂ (GHG) 排出削減効果推計方法論」です。この方法論によって当社が検証、第三者機関である(株)PEARカーボンオフセット・イニシアティブが認証し、「節水によるCO₂ (GHG) 排出削減活動証明書」を発行しています。当社の節水装置は、経費削減に加え、環境面で新しい価値を提供できるようになり、節水の価値を高めることができました。

節水の価値を高め、社会に広めていきたい

——当初、お客様の反応はいかがでした。

山中 大手のお客様ほど、すぐ関心を持ってくれましたね。CSR対策になりますから。実際、感謝の言葉をいただいたり、証明書を社内や社外に掲示していただいたり、喜んでいただいています。現在、500カ所を超えるお客様



蛇口用節水装置エコタッチ®

の施設がこのプロジェクトに賛同しています。

実は当初、社員のほうがその内容がよく分かってなかった。そうした状況を変えるのに少々時間はかかりましたが、最近は違います。お客様に証明書を渡して「大変喜ばれ、飾っておくよと言われ、嬉しかった」と日報に書くようになり、社員が家族に話をして「パパ、そんないい仕事をしているの」と言われたなどの話が出るようになりました。でも、まだまだ、もっともっと、節水の価値を高め、社会に広めていきたいです。

——好きな言葉は。

山中 「正直」「素直」「謙虚」「実直」です。社員にもよく言っています。「仕事は正直にやってくれ、嘘は絶対ばれるから」と。社員に聞いてみてください。📌

●事業の歩み

2011年	設立
2011年	業界初、「節水装置レンタルシステム」開始
2018年	「節水によるCO ₂ (GHG) 排出削減活動」プロジェクト開始
2019年	CO ₂ 削減ECOポイント開始

〈会社概要〉

所在地：東京都千代田区
 資本金：9600万円
 従業員：62人
 業務内容：節水・節電装置の開発・製造・販売及びその取付施工、節水・節電・省エネ機器のレンタル業、省エネ・省資源に関するコンサルタント業など
 スローガン：「お客様第一」